

# まち∞未来 Café(伯耆町障がい老人をささえる家族の会)

## 意見記録

会議名	まち∞未来 Café (伯耆町障がい老人をささえる家族の会)		
開催日時	令和8年1月22日(木)	13時30分~15時	開催場所 溝口公民館
参加者	伯耆町	6名	
	住民	7名	
概要	・町長から町政提案説明・意見交換		
その他			

### (参加者意見及び町側回答)

No	参加者意見	町側回答等
介護・高齢者	<p>○介護現場のリアルな課題(家族の会より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者の孤立: 家族の理解が得られず、特定の個人(主に女性)に負担が集中。男性家族の介護への無関心や知識不足が課題。</li> <li>・地域力の低下: 高齢化や独居世帯の増加により、以前のような「近所同士の助け合い」が難しくなっている。</li> <li>・男性本人の拒絶: プライドから「認知症」を隠したがる、または「女性ばかりの場」への参加を嫌がる男性高齢者が多く、支援に繋がりにくい。</li> <li>・診断後の「行き場」不足: 早期発見ができて、その後の社会参加(通い場)の選択肢が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の不安や一人で抱える限界には強く共感している。</li> <li>今後、高齢者も増え、介護について町としても考えていかなければならない課題だと感じている。</li> <li>今後、高齢者福祉計画など見直しもあるので、検討していきたい。</li> </ul>
	<p>○今後の要望と具体的な提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業研修の導入: 現役世代(特に男性)が介護・認知症の知識を早期に持てるよう、企業や団体での研修を強化してほしい。</li> <li>・「居場所」の創出: 従来の公民館のような不特定多数の場ではなく、本人や家族が気兼ねなく過ごせる「古民家風のゆったりした拠点」を作りたい。(今後、研修等を行っていききたい。)</li> <li>・男性向けプログラム: 男性が参加しやすい環境づくりが必要。</li> <li>・カミングアウトできる土壌: 隠さずに「認知症です」と周囲に言えることで、地域全体で支え合える環境作り。</li> </ul>	